

報道関係者 各位

山形県立谷地高等学校長

谷地高校（校長黒木晃、全校生徒128名）では、国指定重要無形民俗文化財である、谷地八幡宮に代々伝わる「林家舞楽（はやしけぶがく）」を特色ある学びとして取り入れていますのでお知らせします。

1 目的

芸術教育の一環として、郷土の伝統芸能を学ぶことをとおして、郷土への誇りと愛着を育むため平成27年度から毎年実施。

2 場所

山形県立谷地高等学校 西村山郡河北町谷地字田中170

3 日時

毎週2コマ、6校時（14時30分～15時20分）に実施

【当面の予定】

5月9日（金）、5月15日（木）、5月26日（月）鑑賞、楽器の扱い方など

4 対象生徒

谷地高校3年総合教養コース 学校設定科目「総合文化」選択者 16名

5 講師

谷地八幡宮 林 重陽（はやし しげあきら）氏 他2名

6 学習内容

- ・雅楽（※）の楽器である龍笛（りゅうてき）（旋律楽器の横笛）と篳篥（ひちりき）（旋律楽器で音が大きな縦笛）の扱い・練習及び、舞いの礼儀・作法の練習、発表曲の練習を行っています。
- ・最終的には、秋の雅楽演奏会にて神楽「豊栄舞（とよさかのまい）」と「越天楽（えてんらく）」を谷地八幡宮で披露します。（披露時に改めてプレスリリース予定）

※ 雅楽・・・平安時代中期に現在の形に完成した日本で最も古い古典音楽

【問い合わせ】

山形県立谷地高等学校

教頭 松澤 新

電話：0237-71-1155